

# Book Review

## 歯科医師のための災害時マニュアル

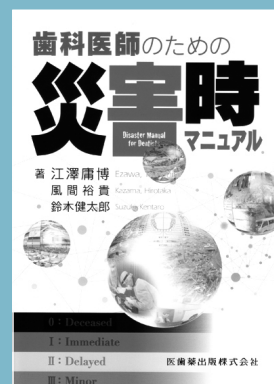
江澤庸博 編著



Reviewer

松崎正樹 Masaki Matsuzaki  
(一般社団法人新潟県歯科医師会会長)

A5 判, 188 頁  
カラー  
定価 5,500 円  
(本体 5,000 円+税 10%)  
医歯薬出版刊



江澤庸博先生は歯周病専門医でありながら、これまで身元確認や災害対応に関する多くの書籍を上梓されています。今回、江澤先生が中心となり、今までにないユニークな、歯科医師のための災害関係書籍が発刊されました。

「天災は忘れた頃にやって来る」という、寺田寅彦（物理学者・随筆家）の有名な言葉がありますが、近年は全国で大規模な自然災害が頻発し、忘れた頃ではなく、忘れる間もなく連日報道されている、といっても過言ではありません。文明が進むほど天災による損害の程度も累進するといわれるなか、自然災害への備えはこれまで以上に重要であり、歯科医師としてもいっそうの自覚と対応が求められます。そんな折、本書は歯科医師会、そして歯科医師にとってまさに時宜を得た一冊といえます。

警察歯科に携わる歯科医師ならば、江澤先生のことを知らない人はいない

と思います。東日本大震災では宮城県歯科医師会の身元確認班班長として、発災翌日から多くの御遺体の身元確認に従事され、さらに全国から派遣された歯科医師に事前レクチャーを行い、昼夜を問わず、身元確認班班長として尽力されました。そんな激務のなか、連日のように江澤先生からお電話をいただきました。先生とは旧知の仲ですが、緊張と責任感が彼を支えていたのか、どう考えても睡眠時間がほとんどない状態で数カ月間も身元確認業務を続けられ、その献身的なご努力に心から敬意を払っておりました。そんなことが昨日のことにように思い出されます。

歯科に係る災害対応の書籍は数多発刊されておりますが、この「歯科医師のための災害時マニュアル」の特徴は、発災時、歯科医師が困ったときに即対応できるよう網羅的に整理され、項目ごとにわかりやすく検索できること、

今後必ず発災するとされる「首都直下型地震」をはじめ、災害時に歯科医師会として、そして歯科医師として為すべきことを大変読みやすく、わかりやすく教示してくれていることです。

たとえば、歯科診療中に地震が起きたときの対策やトリアージについて、限られた医療機能のなかで可及的に多くの人命を救うために行われる傷病者のふるい分けでの、一次トリアージとして歯科医師の行動、使命について、また災害や事故に限らず、一次救命処置や今までにない新型コロナウイルス感染症対応、Web 会議についてもわかりやすく解説されています。

本書は間違いなく歯科医師にとって、特に都市区歯科医師会には必須の実用的な災害時マニュアルであると確信いたします。私の書棚には多くの災害関係の書籍がありますが、そのなかに必携の書として新たな一冊が加わることになりました。